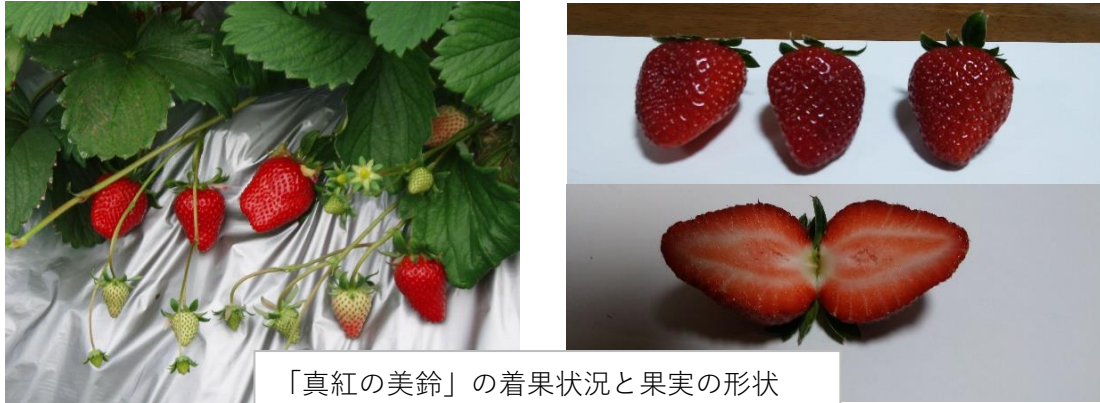




真紅の美鈴

イチゴ品種 真紅の美鈴の親株と実取苗の取扱いを開始しました。

あまい、うまい、中まで赤い「真紅の美鈴」新品種というキャッチコピーの通り、果皮色も果肉も濃い赤色となっており、甘味も味わいも深いイチゴ品種です。



「真紅の美鈴」の着果状況と果実の形状

一般品種より酸度が低いので、甘さが際立つ品種です。

イチゴ狩りやお出掛けの際の直売所用お土産品としてピッタリな品種です。現在は日本全国で約60名が栽培しており、この「真紅の美鈴」を更に広めて生産者を増加していきたいという想いがあります。

イチゴ果実の六次化産業の製品として、鮮やかな色と味わいのジャムや彩り豊かなケーキのトッピングにも適します。

ふるさと納税の返礼品として用いている市町村もございます。

弊社は育成者である成川昇氏と通常利用権契約を締結し苗の取扱いを開始しました。栽培に当たっては成川昇氏と許諾契約を結ぶ必要があります。



育成者の成川昇氏
元千葉県農業総合研究センター育種研究所長



真紅の美鈴 栽培ハウス(1月中旬頃)





真紅の美鈴 品種特性

1. 育成経過

母系を「ふさの香」とし父系を「麗紅」として交配し、その後代選抜系を固定して育成を行いました。平成27年2月品種登録されて登録番号は第23452号です。

2. 生育特性

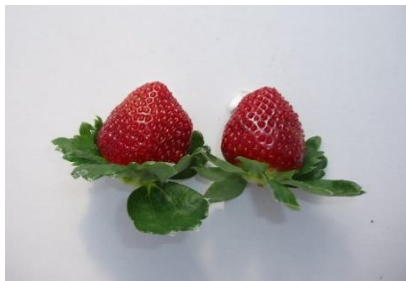
草勢は旺盛、草姿は立性でランナーの発生は多く、葉色は濃緑色です。南関東地方では、花芽分化期が9月14日頃。開花期が10月25日頃で収穫始期は12月中旬頃からとなります。

3. 果実特性

果形は正円錐形、果実の大きさは果実の肥大が最も優れる時期の第2果房の2～3番着果の果重は平均24g、果皮色は濃赤色、果肉は中まで赤い。糖度は11.7度前後、酸度は0.56度前後、糖酸比は20.9で「とちおとめ」や「ふさの香」より高く、常に甘く感じます。濃赤色の色素は機能性として、抗酸化作用のあるアントシアニンで100g中約35mgあり、「とちおとめ」、「ふさの香」より多くビタミンCも100g中約79mgと「とちおとめ」、「ふさの香」より多い。

4. 栽培のポイント

- ・ 栽培期間中の電照処理は必要ない。
- ・ 果実収穫の目安は果実全体が完全着色(濃赤色)した時期。



その他

成川氏との栽培許諾は年間50,000円として3年間まとめた契約となります。許諾料は3カ年165,000円(税込)。さらに継続の場合は、前回と同じく3年契約となります。実とり苗は希望小売価格330円(税込)/株 親株は希望小売価格880円(税込)/株。どちらも送料別途となります。栽培許諾契約につきましての詳細は、弊社担当沖山までお問い合わせください。弊社ホームページのメールフォーム、若しくはお電話でも承っております。また、弊社は農業用資材販売の会社ですので、イチゴ用資材についてもお問い合わせください。資材担当の者が対応致します。

